



平成8年3月20日  
第 4 号

桑名市文化協会  
桑名市中央町2丁目37  
TEL 24-1361



## 二、共催事業

終戦五十周年を迎えて、太平洋戦争のきびしい状況の中、動物の命を守るために努力した東山動物園の園長・飼育係の方の勇気ある行動を通じて戦争の悲惨さ、平和の尊さを訴える合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」の公演に共催団体として参加しました。

出演者は公募により、幼年から熟年までが集まりました。公演は平成七年八月十三日に市民会館で行われ、入場者・出演者あわせて約千名が参加し、大きな感動を与えることができました。

## 事業の報告

### 一、委託事業

第四回桑名市民芸術文化祭は平成七年十月二十九日から十一月十二日までの十五日間にわたり、多ひとりの「眞の生きがい」の追及が叫ばれるようになりました。

また、国際化の進展により、日本文化をいかにアピールしていくかが問われる時代でもあります。このような時期であればこそ、皆様方の活動の意義は計り知れない価値を持つてくるわけであります。

今回特筆すべきことは、改選により、部長が交替された部門では、新部長の意欲的な取組みが目立ちました。全体としては、昨年度の十五事業、約八千九百名の参加者から、二十六事業、約一万四千名の参加者と増加しました。

第一回みえ県民文化祭が県下各地で行われましたが、桑名市内で開催されました。次の催しを協賛しました。

☆九月九日

子どもフェスティバル

☆十月二十九日

能楽まつり

☆十一月十九日

民謡・民舞

私は、このたびの市長選挙におきまして、皆様方のご支援をいたしました。桑名市長に就任いたしました。皆様方から寄せられました信頼とご期待を裏切らぬように市政に全力を尽くす所存でございますので、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、桑名市文化協会の会員の皆様におかれましては、平成五年六月の協会設立以来、市民芸術文化祭をはじめとし、各専門分野ごとの演奏・公演・創作発表等の様々な活動をとおして、本市の文化発展のために多大なるご尽力をいたしました。深く敬意を表する次第でございます。

今日、わが国におきましては、情報量の増加や高齢化の進行・自由時間の増大や価値感の多様化等さまざまな変化が見られます。こ

れらに伴って、多様な学習需要が高まり、生涯学習の必要性と一人ひとりの「眞の生きがい」の追及が叫ばれるようになりました。

また、国際化の進展により、日本文化をいかにアピールしていくかが問われる時代でもあります。このような時期であればこそ、皆様方の活動の意義は計り知れない価値を持つてくるわけであります。

私も桑名市長として、本市の文化の現状を充分に見据え、その発展のために寄与してまいりたいと考えております。

文化協会の皆様方には、今後とも貴会発展のため、ひいては本市の文化の向上のため、なお一層のご活躍をいただきますようにご期待申し上げまして、私のご挨拶といたします。

## 【第四回総会予告】

日 時 平成八年五月二二日(日) 午前十時より

場 所 桑名市コミュニティプラザ・ホール

各部門ごとに代議員の選出をしていただきます。  
詳しくは各部長から連絡します。

## 部門だより(1)

### 市民芸術文化祭と月釜

茶華道部門 谷古 宗敬

昨年の市民芸術文化祭は天気も良く、暖かであり、三連休の為、今までにない大勢の来客にて大盛会でした。市外からの一般見学者が多く、その中から茶会に入席される方も沢山あり、当日券が百三十枚売れ、お菓子や茶等を追加注文する慌しさで、水屋詰も終日大変忙しい一日でした。今年度の五周年行事も三連休に当たりますので、担当される流派は、さぞかし忙しい一日になる事と思われます。

六華苑の「離れ屋」が修復され、四月二十一日から、一般公開されます。当日は入苑料は無料ですが、三百円の茶券で、月釜を「離れ屋」で開きます。なお毎月の月釜の予定は、次の通りです。

### 第4回 桑名市民芸術文化祭



(吉田 敏男 撮)

会場：桑名市民会館・桑名市コミュニティプラザ・六華苑・図書館

期間：10月29日(日)～11月12日(日)

主催：桑名市・桑名市教育委員会・桑名市文化協会

—— 第1回 みえ県民文化祭 協賛事業 ——

### 市民芸術文化祭に参加して

芸能部門 I 荒木 敏文

第4回桑名市民芸術文化祭が昨年の11月3日文化の日に桑名市民会館において開催され、私達桑名邦楽協会は芸能第1部門として出演しました。

出演者は延べ259名、36演目に出演し、観客の皆様には桑名の邦楽を楽しまれたことと思います。

さて、桑名邦楽協会は昭和44年設立以来、毎年4月の第1日曜日に桑名邦楽大会を開催し、本年で第28回を迎えます。当協会は、日本古来の伝統文化を継承し、日本舞踊・民謡・三曲演奏等、各部門の「和」をもって構成されており、桑名市の文化の香り高い町づくりに少しでも寄与したいと考えております。

今後は皆様とは、春・秋2回お顔合わせさせていただくこととなり、楽しんでいただける舞台作りに切磋琢磨してまいりますので、ご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

## 八年度の行事予定

文学部門 神保 喜一

子どもの本勉強会	蓮花寺俳句会	折鶴句会	あやめ俳句会	八風俳句会	くわな川柳会	金雀枝短歌社	★お問い合わせ先
木下(31)	山口(22)	市川(21)	中村(22)	森下(22)	木原(21)	上原(22)	喜子(23)
一五七三	民子(22)	辰巳(21)	七二一	○八二	光枝(22)	二〇三	九一〇五
一八二	九一八	一	一	八一〇	一	九	一

## 部門だより(2)

### 斐亭閑話

芸能部門Ⅱ 田中 貞次

文協誌に一文を寄せよの電話があつたので、取り急ぎ筆を執った次第です。机上には永平寺から雲水さん達の詩が十首程、先生からの依頼で添削せよの作品は、二、三日前からで一応手を入れたところ。次には、課題詩は贈答の絶句、転結二句の発表で、李白、王維等の例詩を調べている。

そして今最も心を惹かれているのは、桑名市博物館で展示される華城詩集である。馬道の詩壇の大作家雅堂先生の長男で、擔風先生門下の秀才ながら、僅か三十三歳で夭折されたが、その遺作集で五十六首の絶句を今読んでいます。訓読みと平仄及び韻字、それに簡単な評註をと考えて、当地のあまり知られていない、この漢詩人を顕彰したいと念願していますが、日暮れで道遠しの感。最後に昨年誕生日の独作です。

八十一生日 朝来寒氣強  
囲炉呵禿筆 独酌夢春陽  
乙亥師走廿八日

### 静の美術文化

美術部門 後藤 光男

一説によると、二十から二十一への世紀転換期を迎えた文化面の展望は、演劇や舞踏、音楽といった時間芸能や舞台芸術の嵐がふきまくり、文学や美術分野は環境面で立ち遅れ、何らかす術もない狂躁期の到来を予言している。確かに地域での美術活動を支える環境は、必ずしも恵まれたものと思えないし、部門展の会場設定は深刻

で、現に美術志向人口は増えつつあり、団体、個人の地元での作品発表を望む数は多く、会場難を訴える声は高い。巧みに光と空間を活かし、機能的な他地域の展覧会場を巡るとき「わが町にもこんな環境が」の願望に静かな血が騒ぎ出す。これは美術活動をする者の共通の、また積年の悲願でもある。

夜空に燃焼する流星の一瞬の光芒にも似た、伝統の町民文化、動の石取祭。対する今は寒風の中の鬱、静の美術文化、やがて膨らみ大きく花開くまで、歩みを休めてはならないと思う。

### サンガ先生をお迎えして

社会文化部門 坂井真佐子

昨年の桑名市民芸術文化祭では、『第3回ざつくばらんトーク』を、私たち「桑名国際交流の集い」が企画担当しました。講師には、三重大学教授でザイル出身のサンガ・N・カザディ先生に来ていただきました。今から5年前に先生と出会ってから、いつの日にか桑名にお招きして講演をお願いしたいと思っておりました。今回それが実現できて、心から嬉しく思っています。

“21世紀を担う子どもたち”と題した講演で、ザイルでの登校拒否児としての自分の経験談を交えながら、教育の本来あるべき姿を流暢な日本語で語つくださいました。家庭、学校、社会のバランスの取れた教育環境の中で、各々の特性の違いを大切に伸ばしながら、これからボーダレス社会に生きる子どもたちを責任あるリーダーに育っていくことが私たち大人の義務であること、そして、その機会を母国ザイルの子どもたちにも与えるために、草の根レベルで“アフリカ村おこし運動”に取り組んでおられることなど、興味深いお話を時間の経つのも忘れてしまうひとときでした。

第4回 桑名市民芸術文化祭	
4	14:00 サンガ・N・カザディ「アフリカ村おこし運動」 [1回目] 15:00 「アフリカ村おこし運動」 20:30 ロケーション撮影
5	14:00 開会式(1回目)「静に魅せ」 [回] 17:30 フラダンスコンサート「アフリカ・アフリカ」 20:30 ロケーション撮影
4.5	9:00 ユニセフの「未来」展示 [出] 17:00
11	10:00 子どもお絵描き教室 [土] 14:00 「アフリカ村おこし運動」 15:00 防劇の祭典
12	10:00 子ども茶会 [日] 14:00 小学校4~8年生 15:00 楽しい読書の仕方指導 [主催] 小学校4~6年生 15:00 9:00 美術展
10.12	17:00 9:00 美術展
主催	桑名市 桑名市教育委員会 桑名市文化協会



サンガ先生の講演

## 部門だより(3)

### 音楽への熱き想い

音楽部門 藤永 博幸

私たち音楽部門は、個人、団体あわせて約五〇〇名の会員数から成っています。

吹奏楽、弦楽、合唱、リコーダー、ピアノ、マリンバ、ロックやブルーブラス等、ジャンルや演奏形態そして年齢構成もさまざままで、まさに老い(?)も若きも、音楽に対しての熱き想いを毎日ぶつけています。

平成七年度の市民文化祭では、「桑名に響きを」「桑名に喝!」「桑名に愛を」と題してステージ演奏を繰りひろげました。来年度もさらに内容を充実させるよう会員一同力を合わせて取り組んでいきますので、是非会場までおいで下さいますようお願いいたします。

私たちの生活の中で、音楽のはたしている役割が大変重要なものであることは言うまでもありません。私たちも音楽活動を通じて、音楽そのものを楽しみ、また本当に音楽とは何かを考えていきたいくらいです。

### 個性を豊かに

芸能部門Ⅲ 太田 美子

私たち芸能部門Ⅲは、洋舞を主に幼稚から大人まで幅広く活動を続いている部門であります。

個性を豊かに表現できる、すばらしい要素を持っていて、時にはストレス解消にもなります。子供達は、美しい音楽に乗って体を動かし、情操を高め力一杯踊ります。

市民文化祭にも洋舞独自の個性

的な持ち味を生かして、すばらしく舞台づくりをお客様に見てもらい、感動して頂ける



今年の市民文化祭をご観覧下さい。

日に桑名市民会館で上演され、冷たいみぞれが降るにもかかわらず、千二百余人の観客がつめかけました。

第一部『桑名演劇塾公演「桑名河畔情話・歌行燈』が去る二月十七

わが街くわなの文学作品をとり

### 総参加で多彩な市民芸術文化祭に

趣味教養部門 西村 邦彦

昨年の市民芸術文化祭は部門総参加による開催でした。みんなで会場の下見をしたりして、六華苑に決まりました。会場が決まってからも、何回かの会合を持ちました。部門の支出の大半は部門会場費代や通信費に充てました。

11月10日(金)から12日(日)の3日間、菊花や愛石展、彫型画展示(年賀状の手作り)、コアラ文庫の講演会、こども劇場の人形劇や大型紙芝居の実演など、アートフラワー、百人一首入門教室や競技会、囲碁将棋初心者コーナーや大会…。ほんとに多彩なものとなりました。

期間中、各会場の役員さんたちが暇を見て、他の会場を訪問して、話しあったりして、すっかり仲よくなりました。

また、こんな会話もありました。「桑名にこんなきれいな西洋館があつたノー、いつ建てたのかしら」「これ文化財なの、桑名つこのに、ちつとも知らなかつたわ」などなど。

出演者を含めて1000人以上の人気が見に来てくれました。そんなこんなで、立派なステージにまとまって1つの催しが出来ました。いろんな反省点もありましたが、そこは、自分たちの趣味のこと、来年に向けてまた頑張ります。各位のご支援、有難うございました。

続いて、劇団すがを三十五周年記念公演『アローン・アゲイン』が三月九日と十日に桑名コミュニティプラザで行われました。また、三月二十八日(金)と二十九日(土)に、第十五回北勢地区高校演劇合同発表会を桑名市民会館で行います。北勢地区の十一の高校演劇部と今年の新卒業生のチームが参加します。入場無料ですから、是非ご観覧ください。

## 会員活動の奨励（後援事業）

会 員 名	事 業 の 名 称
ぐるうぶ雑創	第14回ぐるうぶ雑創展
桑名ちぎり絵サークル	和紙ちぎり絵展
桑名ユネスコ協会	Near to Far (遠い国・近い国)
青 黄 会	第8回青黄会展
彫型画サークル	彫型画展示会
桑名子ども劇場	地域公演 夢知遊座
桑名子ども劇場	わくわくコンサート・すてきコンサート
くわな市民コーラス	くわな市民コーラス演奏会
六石陶遊会	六石陶遊会作品展
桑名国際交流の集い	第3回ユニセフチャリティコンサート
桑名「子どもの本」勉強会	講演会「子育ての中の読書」
桑名市文化協会音楽部門	カウントダウン 96 New Year's Party in くわな
劇団すがお	第52回公演「銀河旋律」
桑名弦楽合奏団	市内巡回コンサート
桑名吹奏楽団	第22回定期演奏会
桑名子ども劇場	第24回高学年例会「STEP ON CRACK」
桑名子ども劇場	第76回低学年例会「王様とまほうつかい チョモチョモ」
桑名子ども劇場	第25回高学年例会「THE NEWS PAPER」
シャンテ・クレール	第7回定期演奏会
桑名少年少女合唱団 武者真理子モダンバレエ キッズ	天使のつどい
都山流尺八楽会三重県支部	第39回都山流尺八演奏会
紫会（芝千紫会）	日本民族舞踊第6回「紫会」
桑名学校吹奏楽研究会	スクールバンドフェスティバル慈善演奏会
陶友会・陶永会・陶彩会	第1回桑名陶芸サークル合同作品展
桑 美 会	10周年記念展
桑名子ども劇場	第77回低学年例会「わんぱくバラエティー寄席」
桑名子ども劇場	第26回高学年例会「ボロチョイ サーカス ミュージカル」
桑名将棋同好会	第27回桑名小・中学生将棋認定大会
劇団すがお	創立35周年記念公演「アローン アゲイン」
三重県高校演劇連盟	第15回北勢地区高校演劇合同発表会
桑名子ども劇場	幼児例会「うたのゆうえんち」
桑名邦楽協会	第28回桑名邦楽大会
桑名かるた若菜会	第54回全国百人一首かるた競技桑名大会
桑名アミー粘土人形の会	アミー粘土人形展
桑名吹奏楽研究会	第21回吹奏楽のつどい
桑名「子どもの本」勉強会	講演会「たくわえた知識 どう使ってますか？」
桑名市謡曲連盟	第10回桑名市謡曲連盟発表会

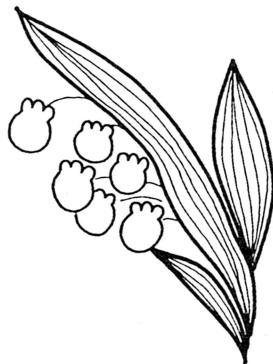
☆平成8年2月末までに事務局が受け付けた分のみです。

# 《お知らせ》

## 1. 哀 悼

役員などのうち、次の方々がご逝去されました。謹んでお悔み申し上げます。

顧問	中川 重哉氏	平成7年11月21日	ご逝去
副会長	鈴木 聖三氏	平成7年6月6日	ご逝去
理事	水谷 正吉氏	平成7年8月25日	ご逝去
理事	大竹 重信氏	平成7年10月22日	ご逝去



## 2. 顧問・理事の補任および新任

中川重哉氏の補任として水谷 元氏（顧問）

大竹重信氏の補任として大竹一枝氏（芸能部門Ⅰ）

水谷正吉氏の補任として足立雅之氏（芸能部門Ⅱ）

総会時に未定だった芸能部門Ⅲに伊藤好子氏。

以上の方々が就任されました。なお、鈴木聖三氏の後任副会長は空席。

## 3. 無料会場の提供

桑名市教育委員会及び（財）桑名市文化・スポーツ振興公社では、桑名市文化協会と協力し、桑名市の芸術活動の発展と創作意欲の向上を目指し、展覧会等のため無料で会場を提供いたします。使用できる会場は、六華苑番蔵棟と桑名市コミュニティプラザ・ロビーです。使用期間は5日間（水曜日～日曜日）です。詳しくは桑名市文化協会事務局（☎0594-24-1361）へお問い合わせ下さい。

## 4. 広報委員からのご挨拶

昨年5月の総会で規約改正がなされ、広報委員が設けられましたが、委員の人選が遅れて、年度末近くになって、やっと会報第4号をお届けする始末になってしまいました。その上、不十分な内容になりましたが、広報委員一同の力不足をお許し下さい。

桑名市文化協会生みの親である、故中川市長が急逝されまして、まことに残念であります。新しい水谷市長も文化振興には力を入れられることと思います。これから時代は物の豊かさよりも心の豊かさが求められる時代です。文化協会の役割もますます重要になってきます。今後の発展のためにお互いに力をあわせましょう。

広報委員長 西羽 晃（社会文化部門）

委員 上原巳喜子（文学部門） 後藤 光男（美術部門）

藤永 博幸（音楽部門） 荒木 敏文（芸能部門Ⅰ）

松田 正美（芸能部門Ⅱ） 太田 美子（芸能部門Ⅲ）

若葉 正則（演劇部門） 小川 章子（茶華道部門）

高草 環（趣味教養部門）

